

日 銀 業 第 5 6 号
2022 年 2 月 28 日

本店管下オンライン取引先 御中

日 本 銀 行
業 務 局

日本銀行が外国中央銀行等のために受入を行う預り金に関する事務における オンライン取引先向け電文の設定内容等について（一部変更）

○ SWIFTが2022年11月から3年間の移行期間を設けて、国際送金で使用する電文を現行のMT電文からISO 20022電文（以下「MX電文」といいます。）に移行する予定であることを踏まえ、2022年11月以降、日本銀行が外国中央銀行等のために受入を行う預り金（以下「海外預り金」といいます。）に関する事務において使用する日銀ネット電文の入力・設定内容等については、これまで以下の資料を公表してきました¹。

- ・「日本銀行が外国中央銀行等のために受入を行う預り金に関する事務における日銀ネット電文の入力・設定内容等について」（2021年9月30日付日銀業第506号、以下「日銀業第506号」といいます。）
- ・「日本銀行が外国中央銀行等のために受入を行う預り金に関する事務におけるオンライン取引先向け電文の設定内容等について」（2021年12月23日付日銀業第646号、以下「日銀業第646号」といいます。）

○ 上記の資料のうち、日銀業第646号でお知らせした、日本銀行が外国中央銀行等からMX電文を受信した場合に、オンライン取引先に送信する電文（「CUSTOMER TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」および「BANK TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS

¹ 日本銀行ホームページの「業務上の事務連絡」の「新着情報」および「日銀ネット関連」中の「通知類（留意事項等）」、<https://www5.boj.or.jp/bojnet/nettuuchi.htm>」に掲載しています。

INSTITUTIONS)」) の設定内容等について、SWIFT電文の項目に関する記載ルールの変更等を踏まえ、一部変更することとなりましたので、以下のとおりお知らせします。

(具体的な日銀ネット電文の設定内容)

- 具体的な設定内容については、顧客送金または金融機関間送金の別（以下「送金種類」といいます。）に応じて、下表のとおり、別紙1および別紙2を参照してください（日銀業第646号から変更があった箇所を、太枠で示しています。ご参考のため、変更点の一覧を別紙3に記載しています）。本資料の内容について、過去の公表済み資料の内容と相違がある箇所については、本資料における記載を優先します。

送金種類	メッセージ名	設定内容
顧客送金	「CUSTOMER TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」 (2330-00100)	別紙1※
金融機関間送金	「BANK TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」 (2330-00300)	別紙2※

※ MX電文の項目等に記載された情報のうち、日銀ネット電文に対応する項目等が存在しない場合には、別紙1および別紙2のそれぞれの別添に記載のとおり設定を行いますので、併せてご確認ください。

(取引先から受けた照会への回答の共有)

- 上記の内容に関連して、取引先から受けた照会への回答について、ご参考までに別紙4にまとめましたのでご確認ください。

(照会先等)

- 日本銀行が外国中央銀行等から MX 電文を受信した場合のオンライン取引先向け電文の設定内容等については、本資料に記載のとおりとしますが、SWIFT 電文の項目に関する記載ルールの変更等があった場合には、今後、変更する可能性があります。本資料に関してご不明な点やご質問等がございましたら、以下の照会先宛にご連絡ください。

日本銀行 業務局 総務課 営業・国債業務企画グループ

電子メール^(注) post.od25@boj.or.jp

(注) 電子メールの件名は、「日銀ネット外国中銀等関係事務に関する質問の件」と記載してください。

- なお、本年 9 月から 10 月の間に日銀ネット電文の送受信テスト²を実施する予定であるほか、「業務オンライン」³により MX 電文の情報の授受を行うことを検討しています。これらについては、本年春頃に詳細をお知らせする予定です。

以 上

² 日銀ネット電文の送受信テストの概要等については、日銀業第 646 号の別紙 4 をご参照ください。

³ 「業務オンライン」の詳細については、2021 年 11 月 5 日付日銀業第 584 号をご参照ください。